

令和元年度第1回静岡県入札監視委員会議事概要

1 開催日時及び場所 令和元年7月22日(月)13時30分～15時45分
県庁別館9階 特別第2会議室

2 出席者 委員長 寒竹伸一 (静岡文化芸術大学大学院教授)
委員長代理 田中博道 (東海大学海洋学部名誉教授)
委員 木村恵子 (しずおか市消費者協会会員)
中山美砂 ((株)足立経営サポート代表取締役)
一杉泰博 (弁護士)
山田夏子 (公認会計士)

県説明員等 宮尾交通基盤部長、前島交通基盤部部長代理、長縄交通基盤部理事、長田交通基盤部参事 等

事務局 鈴木建設支援局長、井口建設業課長、廣瀬建設技術企画課長 等

3 議事概要

(1) 入札・契約手続の運用状況の報告

平成30年10月1日～平成31年3月31日に県が発注した工事の入札・契約手続の運用状況等について、県から報告を受け、質疑を行った。

(2) 抽出事案に関する説明及び審議

委員が抽出した下記の5事案について、県から経過等の説明を受け、質疑を行った。(主な質疑は、別紙のとおり。)

(抽出事案)

- ・ 平成30年度 [第30-Z3006-02号] 静岡県庁東館保守用発電設備改修工事
- ・ 平成30年度 [第30-K3701-70号] 二級河川安良里浜川河川維持修繕工事(河床掘削工)(11-03)
- ・ 平成30年度 [第30-D4600-01号] (一)富士由比線社会資本整備総合交付金(県道橋梁改築)工事(右岸護岸工その2)
- ・ 平成30年度 [第30-K5601-01号] 浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業(海岸)工事(中田島工区本体施工その2)
- ・ 静岡県立浜松北高等学校格技場修繕他工事(台風24号災害復旧)

(3) 審議の結果

抽出事案に係る入札及び契約手続きについて、意見の具申及び勧告はなかった。

質 疑	応 答
<p>① 平成30年度 [第30-Z3006-02号] 静岡県庁東館保守用発電設備改修工事 [経営管理部管財課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24者の参加見込みに対して、応札業者が1者となったのはなぜか。 ・設計内容の見直しとは、具体的にどのようなことをしたのか。 ・審議する資料として、もう少しわかるように資料をつけてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の施設を使用しつつ修繕をする工事で、対応を間違えると県庁内の電気が落ちてしまうというリスクがあり、県の施設設備のシステムを理解している必要もあることから、自信のある業者しか応札せず、結果的に1者の応札となったと思われる。 今回の入札を行う前に一度入札を実施しており、その際には4者の応募があったものの実際の応札者は1者のみで、入札価格が最低制限価格を下回ったため不調となった。 今回は設計内容を見直して改めて入札を実施したが、応札者は前回不調となった入札の応札者と同じ業者1者のみだった。 ・前回の入札が不調となった後、入札参加申請をした業者に対して聴き取りを行った上で、十分採算の採れる工事であると確認できたので、設計に当たって業者から取った参考見積りに対する調整率を下げたこと、別途に行った点検の結果、緊急の修繕が必要だったことを踏まえ、設計の見直しをおこなった。 ・審議いただくために十分な資料を用意するよう改める。
<p>② 平成30年度 [第30-K3701-70号] 二級河川安良里浜川河川維持修繕工事 (河床掘削工) (11-03) [交通基盤部下田土木事務所]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が100パーセントとなったのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積算基準、単価が公表されており、河床掘削と残土処理という比較的単純な構成で積算が容易である一方で、工事場所が河口付近で潮の干満の影響があること、川幅が狭く施工スペースが比較的小さいこと、川の両側に住居が立地しており環境対策が必要なことなどの現場条件から設計額に近いところで入札したためと考えられる。

質 疑	応 答
<p>③ 平成30年度 [第30-D4600-01号] (一) 富士由比線社会資本整備総合交付金 (県道橋梁改築) 工事 (右岸護岸工その2) [交通基盤部富士土木事務所]</p> <p>・落札率が高かったのはなぜか。</p>	<p>・この工事の発注時期は1月で、様々な工事が佳境を迎えている中で、参加業者が3者と少なかったところからも技術者や下請業者の確保が困難であったことが考えられるが、既に発注済みの隣接工事を受注し施工している業者が下請業者の手配がしやすいなどの理由から有利になったものと考える。</p>
<p>④ 平成30年度 [第30-K5601-01号] 浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業 (海岸) 工事 (中田島工区本体施工その2) [交通基盤部浜松土木事務所]</p> <p>・落札率が高かったのはなぜか。</p>	<p>・施工において、延長が長いわりに狭い仮設を設置しなければならず、コストが高めになることや、歩掛りにについても低い値を採用するなど、県の価格設定が厳しかった結果、高落札率になったと思われる。</p>
<p>⑤ 静岡県立浜松北高等学校格技場修繕他工事 (台風24号災害復旧) [教育委員会浜松北高等学校]</p> <p>・入札参加者が多いにも関わらず、落札率が高いのはなぜか。</p>	<p>・精度の高い参考見積もりを複数社から徴し、一番安い見積もり価格を予定価格に設定したところ、その見積もり業者が同額で入札したため、100%の落札率となった。</p>